

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

使用上の注意改訂のお知らせ

2024年1月
吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10

解熱鎮痛消炎剤・川崎病用剤
日本薬局方 アスピリン

アスピリン「ヨシダ」

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度、標記製品につきまして、**使用上の注意**を改訂(自主改訂)致しましたのでお知らせ申し上げます。
なお、今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

謹白

—記—

1. 改訂内容 (改訂箇所抜粋)

自主改訂による追記箇所： _____ 部 削除箇所： _____ 部

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10. 相互作用 10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(省略)			(省略)		
糖尿病用剤 (ヒトインスリン等)	(省略)	(省略)	糖尿病用剤 (ヒトインスリン、 <u>ト ルブタミド</u> 等)	(省略)	(省略)
非ステロイド系解熱鎮痛消炎剤	(省略)		(省略)		機序不明
	オキシカム系消炎鎮痛剤 (ピロキシカム等) [7.1、11.1.7参照]	両剤又は一方の薬剤の副作用の発現頻度を増加させ、 <u>消化性潰瘍、胃腸出血の発現が高まるおそれがある。</u>	両剤ともに <u>プロスタグランジン合成阻害作用を有するためと考えられている。</u>	オキシカム系消炎鎮痛剤 (ピロキシカム等) [7.1 参照]	

裏面へ続く 

改訂後			改訂前		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(省略)			(省略)		
β-遮断剤 (プロプラノロール塩酸塩等)	降圧作用が減弱することがある。	本剤がプロスタグランジン生合成を抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。	β-遮断剤 (プロプラノロール塩酸塩等) <u>アンジオテンシン変換酵素阻害剤</u> (カプトプリル等)	降圧作用が減弱することがある。	本剤がプロスタグランジン生合成を抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。
<u>アンジオテンシン変換酵素阻害剤</u> (カプトプリル等) <u>アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害剤</u> (サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物) <u>アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤</u> (バルサルタン等) <u>直接的レニン阻害剤</u> (アリスキレン)	(1) 降圧作用が減弱することがある。 (2) 腎機能を悪化させるおそれがある。	(1) 本剤がプロスタグランジン生合成を抑制することにより、プロスタグランジンを介した降圧効果を減弱させる。 (2) 本剤の腎プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下するためと考えられる。	(省略)		
(削除)	(削除)	(削除)	<u>ザフィルルカスト</u>	(省略)	(省略)

2. 改訂理由

(自主改訂) トルブタミド、ザフィルルカストについては、販売中止のため削除しました。またその他は、相互作用相手薬の記載と整合性を図るため改訂しました。

今回の【使用上の注意】の改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報(DSU) No. 323(2024年1月)に掲載する予定です。

改訂後の電子添文は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 又は吉田製薬株式会社ホームページの製品情報サイト (<https://www.yoshida-pharm.co.jp/product/>) をご覧ください。

なお、以下の GS1 バーコードを添付文書閲覧アプリ「添文ナビ®」で読み取ることで、本製品の最新の電子添文等をご覧いただけます。

アスピリン「ヨシダ」100g



(01) 14987288300202

以上



製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951